

こんにちは。院長の森本です。MDC14回を担当します。まずは、もりもと歯科の現況についてお話します。来月10日にカウンセリングルームに治療用チェアを増設します。このチェアは、CAD/CAM専用として使用します。CADとは、computer aided design. (aided(支援する))。CAMとは、computer aided manufacturing. の略です。簡単に言うとコンピューターが仕事してくれるということです。カウンセリングルームは、ドクター研修ルームに移動します。

※ CAD/CAMの詳細は隣に掲示してあります。小冊子もご自由にお持ちください

2010年現在、歯科界での三種の神器と言われているのが、“CT” “CAD/CAM” “マイクロスコープ”と言われています。マイクロスコープとは、拡大鏡です。顕微鏡みたいにレンズを覗きながら治療します。当院は来月、CAD/CAMを導入するので、残りマイクロスコープのみになりました。CTを撮影し、確実な画像診断を行い、マイクロスコープで治療し、CAD/CAMで、被せ物を製作する時代になりました。医学の進歩は、本当にすごい勢いです。名古屋大学、広島大学をはじめ、研究分野では、“再生”がかなり進んでいます。もりもと歯科も開業して7年目になりましたが、中の雰囲気もだいぶ変わりました。また5年後も変わっていると思います。新しい知識、技術、材料etc学び患者様に提供できるよう頑張っていきます。

来月、4年の1度のワールドデンタルショー（歯科のオリンピックみたいなもの）が、横浜で開催されます。驚かされることが多いでしょう。この様な機会に少しずつご紹介していきます。

先日、札幌で日本口腔インプラント学会で発表してきました。インプラント専門医を目指しております。

長男、康太は2歳になりました。

